



NEWS ECO



シブヤパイピング工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681

URL <http://www.shibuya-p.com>

8月は「猛暑」に加え台風が次々に日本に接近、上陸するという「異常気象」を肌で感じる一月でした。

7月の「NEWS ECO」で今年7月3日ようやく、台風1号が発生し、観測史上2番目に遅い、記録であることをお伝えしました。その後、8月末までに、11個の台風が発生し、8月だけで、6個の台風が次々と東北、北海道に上陸又は接近しました。中でも台風10号は日本近海で発生し迷走、観測史上初めて、東北地方(岩手県大船渡市)に上陸、甚大な被害が発生しました。

台風の発生が遅かったのも、通過コースが例年と異なるのも地球温暖化による「異常気象」で、主因が二酸化炭素であるならば、私たちも日頃の生活を見直すことで「異常気象」対策に参加することは可能です。

二酸化炭素の排出量を、自然が吸収できる量以内に削減するための、環境配慮を心がけ「低炭素社会」構築しましょう。

右の写真は、5月にメダカの産卵床として2株購入した「ホテイアオイ」。増えに増えて8月半ばから、薄紫色の花を次々に咲かせています。葉の基部が七福神の「布袋さん」の丸いおなかに入っていることから、標準和名を「布袋葵」。花の付き方がヒアシンスに似ていることからウォーターヒアシンスとも呼ばれます。夏の水面で1日限りの花を咲かせ、私たちに涼やかな風を運んでくれます。

昭和30年代、「きんぎょ一エ、きんぎょ」と夏の住宅街に響く金魚売りの声。その天秤棒につるした木桶中には金魚・金魚鉢・金魚藻(ホソガ)・ホテイアオイが涼しげにならべてあったことを思い出させてくれます。



＜ISO揭示板＞内部監査終了

新規格による内部監査が8月25日の技術部を皮切り、9月2日の浜松支店まで順次行われました。

今後は、9月9日の監査チームリーダー会議の開催、20日のマネジメントレビューでの結果報告となります。

監査へのご協力、ありがとうございました。監査員の方々忙しい中、お疲れ様でした。

監査結果を真摯に受け止め、プロセス改善に活かし、より良いシステムを構築して行きましょう。

チームリーダー会議

日時 9月9日(金) 13時00分～
場所 本社会議室

マネジメントレビュー

日時 9月20日(金) 15時00分～17時00分
場所 本社会議室

＜一人でもエコ活動＞

レジ袋削減の効果・賛否両論

(参考：オフィス用品の教科書・地球温暖化白書)

2007年4月に施行された、「改正容器包装リサイクル法」の大きな目玉として推進されているレジ袋の削減。施行から9年が経過し、実質的な環境保護対策としては、ほとんど無意味だという意見がある一方で、マイバック持参は習慣化されつつあります。

レジ袋の削減の意味について考えて見ましょう。

レジ袋の現状 1970年代後半からスーパーなどでレジ袋は急速に普及しました。国民の購買行動が増加するとともに、家庭内のレジ袋の量も増えていき、ゴミ袋としては使いきれず、レジ袋そのものがゴミとして大量に廃棄されるようになりました。

現在、日本国内では約300億枚/年のレジ袋を消費しています。これを人口で割ると、国民1人あたり年間に約300枚使っている計算となり、金額にすると2,000円程度、日本全国では、2,000億円を超える金額になります。

レジ袋を全廃すると、樹脂業界、加工業界は大打撃となりますが、日本国内で年間これだけの金額と資源が消費されていると思いついて買物してみてもいかがでしょうか。

レジ袋削減の効果には 次のようなことが挙げられています。

- ・石油資源をムダにしない
- ・消費者の環境意識の向上
- ・廃棄物の減量により環境破壊を抑制する
- ・焼却時のCO2を減らす



レジ袋削減の 声が高まる一方で、以下の理由から、レジ袋の削減による環境への効果はほとんどなく、かえって負荷となる可能性があり、あまり意味がないという意見もあります。

- ・燃やしても二酸化炭素と水が発生するだけで、環境破壊にならない
- ・石油製品の残りを材料としており、コストが安くムダではない
- ・新たなマイバッグなどの購入は負担となる
- ・ゴミ袋の購入は消費者への負担に加え製造コストがかかり、環境の負荷となる

レジ袋の自然界への影響は、土に返ることなく自然界に残るものがあということです。レジ袋がゴミとして捨てられることによる、自然界の動植物への影響として、広く知られていることに、クジラやウミガメなど、海洋生物の誤食による死があります。

レジ袋削減による経済的効果はともかく、余って、ゴミになるほど流通し、風の強い日には空を舞っている、ゴミとして捨てられるレジ袋の現実がこのままで良いはずがないことは明白です。コンビニで雑誌1冊にレジ袋は不用です。生鮮食品、冷凍食品の購入にはレジ袋は不可欠です。レジ袋がなければ、生ゴミ処理のために袋を購入することになります。不用なレジ袋は断る。余ったレジ袋はリサイクルできるように処理する。この二つが私たちが今出来る最善の策かもしれません。